



法の光 (法光山 妙勝寺 通信)

No.275

2022年(令和4年) 11月 1日発行

文責 大岩 清人

— 除夜の鐘 —

妙勝寺ホームページ

<http://www.myosyoji.net/> 又は「法光山 妙勝寺」で検索

第741回お会式 — 小生最後のお会式 —

本年のお会式は小生にとって最後のお会式となります。多くの方にお参り頂ければと思います。

11月23日(祝日・勤労感謝の日)

- | | |
|-------------|--------|
| 11:00～ | 法要 |
| 12:15～ | 昼食 |
| 12:45～13:15 | 妙勝寺骨董市 |
| 13:20頃～ | 法話 |



法話では小生が「佛教と法華経と妙勝寺は素晴らしい」と題して最後のお話をさせていただきます。別紙のご案内をご覧ください。

妙勝寺骨董市

先代(一妙院)は晩年、骨董市に足繁く通い気に入ったものを集めておりました。今回の住職交替を機に整理をしております。

お寺に什物として残しておきたいもの、記念に取っておきたいものと分類していますが、点数が多くて思案しました。お寺に置くとしても記念に置くとしても納戸にず～っとあるだけになりそうです。何しろ多いのです。右の写真はごくごく一部です。



陶器・飾り物・器・花瓶の他、多岐にわたります。

そこで収集品の一部を皆さんに使って頂けたり、飾って頂けたり、また気に入ったものがあればお譲りすることとしました。一妙院への供養料としてお気持ちでご寄付頂ければと思います。

11月23日お会式の食事が終わる12:45～13:15に品物を展示します。

※骨董市だけではなく、是非午前の法要からお参り頂き昼食の後、骨董を見て、最後に法話にもご参加下さい。

日常の会話 2

「日本人はほとんどが佛教徒ですよ。でも、その意識がなくて無宗教だとか、自分の家の宗派を知らない・・・と若者が堂々と話をしているのを見るとやはり日本はおかしいというか、哲学がないというか、無知すぎるな～と思います。」

「そうですね。若者で自分の家の宗派を認識している人は少ないでしょうね。なんとなくおじいちゃんの葬式をあのお寺でした・・・という感じでしょうか。」

「先祖からの信仰を受け継いでいませんよね。戦後、故郷を離れて都会に働きに行き、その地で家を構えて生活することになりました。それ以前は田舎で先祖の元、寄り集まって生活していましたから、我が家は何宗で、〇〇神社の氏子でお祭りをした・・・と生活に入り込んでいましたが、都会生活でそのことが出来なくなってしまった結果かも知れません。」

「戦後教育の問題もあります。宗教を分離させる政策がとられました。アメリカの日本精神を骨抜きにする政策だったのです。」

「戦前の神道教育は専制的な面が強く、欧米に対抗する教育でしたが、戦後は愛国教育すらされていませんね。若者に愛国という意識はないかと思えます。一方、中国や韓国では日本の支配下で、こんな蹂躪をされたら若者に教育しているのですから、日本の若者と意識は大きく違いますね。」

「BS放送を見ると昼間は韓国・中国ドラマに占領されていますよ。申し訳ないが放送局も占領されている気がします。日本人はどこまで脳天気洗脳されたのかと思います。」

「そうですね。日本の若者はアジア諸国の若者から相手にされないらしいですよ。英語力がない。歴史観がない。自己主張がないなどです。TVを見ていて腹立たしく思えるのが、若者の無知を笑いにしてる番組です。世界地図が頭がないとか、国語の漢字すら書けない人が堂々とTV画面に出ている。恥ずかしさもないようです。」

「仰るとおりです。一方、知識を売りにするクイズ番組がありますが、特定の芸能人ばかりですね。」

「テレビ局もオピニオンリーダーとして考え直して欲しいですね。あの程度で良いんだ・・・と日本人のレベルを下げているように思います。」

「日本の大学は中国人・韓国人を初めアジアの優秀な若者が相当占める時代になるでしょう。彼らが日本に貢献してくれれば良いのですが、彼らは祖国を大切にす愛国教育を受けていますから、祖国に尽くすように思います。」

「今の日本にとって人材教育が一番大切だと思います。」

国王

エリザベス女王の国葬を見て、国王という存在を改めて知った。

葬儀の先頭を歩くチャールズ新国王を初め王室は軍服が正装という。歴史を考えればスコットランド・ウェールズ・アイルランド・イングランドと国内で争い、統一したのがイングランド国王である。そして海外へ進出する時代の中でヨーロッパ列国と戦い、大英帝国という日の沈まぬ国を作り上げた歴史がある。その中心に国王は存在していた。軍隊の最高司令官として国を守るのが最大の任務なのだ。その座にエリザベス女王は70年君臨した。



王は人間である。日本の天皇を神格化したのとは異なる。当然王族も人間である。王族のスクンダルは人間らしく様々な物議を繰り返してきた。

日本の歴史にあてはめれば、国内を統一した源頼朝・豊臣秀吉・徳川家康といった人物が該当する。250年の長きにわたって徳川将軍は統治したわけだが鎖国政策で国内統治に限っていた。その家康は「臨終^{そうら}候はば御躰をば久能へ納(久能山東照宮)。御葬禮^{そうらい}をば増上寺にて申付(葬儀は芝・増上寺にて)。御位牌^{かんじょう}をば三川(三河)之大樹寺に立。一周忌も過候て以後。日光山に小き堂をたて。勸請^{かんじょう}し候へ。(日光東照宮)」と終活をしています。

日本を統一したとはいうものの武士階級の政権争いであり、一般国民は殿様が変わったというだけで自分たちの生活が殿様によって大きく変わるものではなく、年貢や冥加金として厳しく徴収されていました。庶民が後押しする体勢ではありませんでした。

国情の違いと時代の差で同じ島国を統治した女王と家康には大きな違いがあったようです。イギリスが今後どの様になるのか・・・連合王国は維持されるのだろうか？

「ごめん下さい。」事務所の入り口で声を掛ける。一斉に事務所にいた職員が私の方を見た。しかし誰も立とうとしない。坐ったまま「どちら様でしょうか。」「品物を注文した者です。」「領収書書いて」会計担当と思われるご婦人^{けいげん}が怪訝そうに領収書を持ってこられ現金を渡した。「なんと無愛想で失礼な会社だ。社員教育はどうなっとるんだ・・・」と一人憤慨。こんな会社あるんですね～

お見舞いもなくなった・・

検査入院中に、ラジオを聞いていると上沼恵美子さんが面白おかしくトークを展開していました。

話は入院のお見舞いに進み、「私が若い頃、盲腸で入院していると今の桂文枝さんが見舞いに来られて、当時珍しかったグレープフルーツの箱詰めと最新女性週刊誌二冊を差し入れてくれはったのには、さすがセンスあるな～と改めて尊敬しました。」に始まって「見舞いに持っていく果物は何がエエ？」と進行のアナウンサーに聞いて「リンゴ・梨・ミカン・・スイカはないな～枇杷もチョットな～」と一人話が進みます。

「今、お花をお見舞いにはアカンで～ 花粉とか問題があるから・・」

「見舞いに来てくれて、横で果物をむいてくれる・・やっぱりリンゴがエエな～リンゴはどう皮むくのが好き？四等分してから皮むくか、丸ごとむいて四等分か」リンゴ一つで話を次々膨らませます。お見舞いから果物に移り、リンゴからリンゴの皮むきに移りと関連づけて面白く話を構築するのが漫才師や噺家のテクニクなのです。我々は一つの話題ですぐに終わってしまいます。



頭の中で上沼さんの話の内容を想像していると「リンゴが食べたい・・」となりました。でも、今はコロナで病室に面会者は入れません。唯々TV画面を見るか、本を読むか、ラジオを聞くか、寝るかです。

「明日、退院やけどリンゴ皮むいて持ってきて」とメールした。

11月の日程

11月3日(祝日)	14:00	婦人会班長会議	会議室
	15:00	婦人会全体会	会議室
11月19日(土)	9:00	餅米洗い	
11月20日(日)	9:00	餅つき	
11月21日(月)	9:00	色つけ	
11月22日(火)	9:00	餅柱・お弁当準備	本堂・客殿
11月23日(祝日)	11:00	お会式法要	本堂
11月24日(木)		お会式お札・お餅配り	山崎町近在